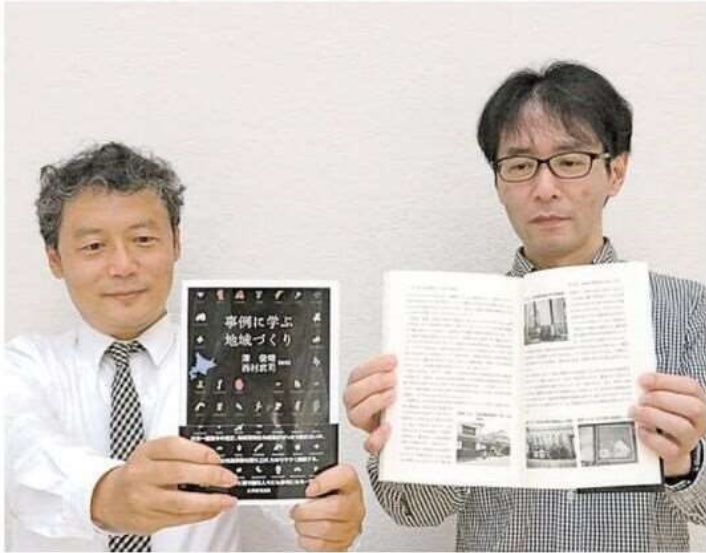


山陽学園大(岡山市)
地域マネジメント学部
の沢俊晴准教授(49)と
西村武司准教授(46)
が、書籍「事例に学ぶ

地域振興の参考に

山陽学園大2准教授

先進事例解説する本出版



「事例に学ぶ地域づくり」を手にする
沢准教授（左）と西村准教授

地域づくり」（大学教
育出版）を出版した。
地域活性化策の先進事
例などを取り上げて解
説。2人は「地域が元
気にならないければ、日
本も元気にならない。
地域振興に向けて行動
する人の参考になれ
ば」としている。
2部構成。第1部(5
章)は地域づくりに関
する取り組みや政策
を、第2部(同)は各
地で奮闘する当事者の
エピソードを掲載して
いる。自治体職員や当
事者ら12人が執筆し、
2人が編集した。
地方自治論が専門の
沢准教授は、都市部で
働いていた若者らに移

住してもらい、地域お
こしを担ってもらおう
「地域おこし協力隊」
制度を説明。高い能力
や専門性を持った人が
低い給与で働く現状に
危惧を示し、「新たな
スキーム(枠組み)を
講じるべき段階にきて
いるのでは」とした。
西村准教授は農業経
済学が専門。地域に自
生するハッカに着目
し、活性化に取り組む
矢掛町のグループを取
り上げた。ハッカを使
った焼酎やお茶といっ
た商品開発のほか、古
民家を改修した宿泊施
設内に焼酎の蒸留所を
設けるなどし、観光客
の目を引いている事例
を報告している。
A5判184ページ。2
200円。全国の書店

で販売している。
(信定佑紀)